



8月ですね。



8月です。猛暑が続いています。夏は、細菌の繁殖もしやすく、プール遊びで体の接触もあり、感染症が広がりやすい時期です。子どもの体調管理に十分配慮し、早期発見・早期治療につなげたいものです。でんでんむしでは、感染症ハンドブックを用意しています。来室の際には、ご自由にご覧くださいね。



～子育てワンポイントアドバイス！～

ー赤ちゃんことばー 「ブーブー、マアママ、アッ・アッ…」と発声していた赤ちゃんが「ウマウマ」とか「ママ」とか意味のある言葉を出した時、親はとてもうれしいものです。赤ちゃんが言葉で自分の気持ちを伝えることができるようになると、子どもの世界は広がっていきます。しかしこの時期の赤ちゃん言葉は気持ちを伝えるには不足していますので、親は子どもの言いたい気持ちをじっくり聞いてあげて、正しい言葉で返してあげましょう。また、赤ちゃんにたくさん話かけることは子どもの言葉の発達を促します。

ーあなたは、ほめ上手、叱り上手？ー 厳しすぎるしつけは、子どもの自信をなくし、場合によっては、裏表のある子になるといわれています。腹をたてて叱ったときは、効果なく親の負けです。叱り上手は、子どもの目線まで身をかがめ、子どもをだっこしていいふくめる、教え、さとしながら子どもの長所を見つけてほめ、「いい子ね。」とやってやることです。ほめることを見つけ、ほめることを多くすることが子どもの「やる気」を引き出し、自尊心も高まります。また、ほめる・叱る・言葉のふれあいだけでなく、肌や笑顔のふれあいも一緒に実行するとよいでしょう。



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の7月のイベントから ～



「たなばた会」 6日 6日は七夕会でした。色紙を使って親子で楽しく七夕飾りを作ったり、短冊に、「歩けるようになってお外であそべますように…」、「げんきでおおきくなりますように。ひいおばあちゃんもげんきになりますように…」など、我が子や家族に向けて、思い思いの願いを書いたりして、笹に飾り付けました。楽しいひとときを過ごしました。



「子育て講話」 20日 佐賀女子短期大学の白濱洋子先生を講師として迎え、「子どもと共に生きる」という演題でお話いただきました。いろいろな事例を基に「乳幼児期は人生の土台である。今は言葉のシャワーを浴びせることが大切。」「子どもの健康を考えて14時間睡眠を！」など、子育てについて様々なご示唆をいただきました。参加された方から、「子どもの“今”にとってどんな事が大切かが分かった。」など、すばらしい感想をいただきました。白濱先生、ありがとうございました。



「子育てイベント」 28日 佐賀女子短期大学の学生さん手作りのおもちゃを使って、親子で一緒に遊びました。学生さんからは歌や手遊びもあり、あつという間の1時間でした。参加された方から、「手作りのおもちゃで遊べたり、作ったりできて子どもも楽しそうだったし自分も楽しめた。」「歌遊び、指遊びなど、みんなでやれる機会がありよかった。」など、大変良い感想をいただきました。担当の大村先生、ありがとうございました。



今月のメニュー



10日 10:30～「ママカフェ」
22日 10:30～「お誕生日おめでとう」
24日 10:30～「子育て講話」

・演題:家族でよみかかせ
・講師:佐賀女子短期大学 教授 白根 恵子先生

30, 31日 10:30～「子育てイベント」

・内容:食育「三食を上手に使おう」
・講師:佐賀女子短期大学 専任講師 小島菜実絵先生
☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆
[Tel 0952-37-1117] (みんないっしょにいっしょ)

